

# 週刊 学びのコミュニティ

第27号

平成21年10月7日発行



**【紹介】** 9月19(土)～21日(月) **日本教育工学会 第25回全国大会**が東京大学で開催された。本学会では、教育の情報化にともないICTを活用した様々な授業設計・授業実践報告がされている。今回、我々が開講した平成21年度前期、教養科目 自然と技術「アクティブラーニングと科学」の授業について実践報告したので紹介する。

## ICTを活用した教養教育における他者の視点強化 ～地域社会人ボランティアとともにつくる アクティブ・ラーニング～

本授業では、Web 掲示板、聴衆応答システム、社会人参加など3つのツールを活用して、他者の(建設的な/批判的な)意見を意識しながら、自分の意見を組み立てるグループ学習を導入した(履修学生32名、地域社会人ボランティア2名、教員・非常勤講師3名)。

最終授業で、学生に「どの方法が自分にとって有意義でしたか、その理由や具体的事例とともに述べてください。」と質問したところ、表1のような結果が得られた。

表1. 学生のアンケート結果

有意義な方法	理由
Web掲示板	他者の意見と自分の意見とを比較し、意見の交換というものができることが、自分にとって良いものだった。特に、自分の課題に他の人が書き込んでくれることが良かった。第3者の意見や批判が確認でき、自分の視野を広げられると思う。
聴衆応答システム	その場で全員の意見が数値として明確化され、自分の意見が全体の何割を占めるのかがよく分かり面白かったと思う。また、一般的に述べられていることと学生での意見が正反対であったり、興味深いものとなった。
聴衆応答システム	自分の質問のアンケートを取って、実際に周りの意見や考え方を聞くことで、多方向から物事を考えることができる。自分たちの班ではある意見が多かったのに、自分たちの意見と異なった結果になり驚いた。
社会人参加	教科書上の知識ではなく、生きた知識をアドバイスとして与えてくださったことは、自分にとって大きな力となった。また、生きた話はやはり強い主張となりえるように感じた。

一つのツールに絞って、教育効果の高いシステムを構築することも重要であるが、他者の視点強化のためには一つのツールに頼らず、いくつかのICT ツールを活用したり、社会人参加のような性質の異なる種のツールと組み合わせたりすることも有効であると報告した。

参加者から、学生が考えた設問に対して聴衆応答システムで即座に他者の意見分布を知り、そしてそのデータを使って論述的な文章を書き、Web 掲示板に投稿するという授業設計に興味を持っていただいた。

次に、シンポジウムで取り上げられた「国語教育におけるICTの可能性」藤森祐治(信州大学)のバタフライマップ法に興味を持ったので紹介する。

バタフライ・マップ法は信州大学教育学部の藤森裕治教授が提案する学習法で、4枚の蝶の羽に考え方の道筋を右上から「事実」「説明」「問題」「解決」と分けて記し、蝶の胸にはテーマを、その下には「是」「非」の立場と自分の解釈を記す。子ども達が考えをもち自分の意見を組み立てる時の思考方法に沿った設計で、それぞれの羽に本文の叙述、自分の考え、また叙述と考えを結ぶ説明、異なる意見など色々な要素を織り込みながら発

想する思考支援のための道具だ。羽の上の内容を時計回りに進める中で、論理力や要約力が鍛えられ、伝える力が伸びるという。(引用：

[http://www.kknews.co.jp/maruti/news/090404\\_1a.html](http://www.kknews.co.jp/maruti/news/090404_1a.html))

実際に小学生同士がバタフライマップを交換することで他者の視点を知る機会とした授業や、小学生と大学生とが約一ヵ月間 Web 上でこのバタフライマップ上で学びを積み重ね、実際に対面し、作品を発表し合う授業などの実践例がいくつか紹

介された。

バーチャルな世界とリアルな世界とをうまく組み合わせた授業設計に感心した。

現在、多種多様な授業のツールが研究開発されているが、いくつかのツールの特徴をうまく組み合わせながら、それぞれのツールの良さをさらに引き出すことで、教育効果が高められるような授業設計を考え、工夫したいと思った。

(文責：嵯峨山 和美)



### ♪中国・青島理工大学の学生さん達とスカイプで話しませんか？

青島理工大学外語学院3年生の学生さんとインターネットを結んで、ライブで対話をしています。これまで2回終了していますが、今後も引き続き行う予定です(全7回)。日本語を使つての対話ですので、言語の心配はありません。みなさん日本語を学んでいる学生さんたちで、日本に対する興味関心をたくさん持っています。自分の言葉でお互いの国のことを語り合い、理解を深めてみませんか。

これまで、日本のアニメや映画、男性が化粧することについて、などについて意見交換をしました。第3回は日本アニメにおける中国のエLEMENT、日本アニメに見る日本精神と性格、第4回は食事、ファッションをテーマに対話していきます。

次回は**10月19日(月)**です。興味のある方、奮ってご参加ください。

日時：**毎週月曜日 16:30~18:00**

場所：**学生支援室**

開講日追加のお知らせ



ちなみに...**guさんと学ぶ中国語**を開講しています！

**毎週火曜日 13:30~15:00頃 学生支援室にて**

こちらもお気軽にどうぞ。

ぜひ参加したいという声を多数いただきました！当初設定した日時には授業の関係で参加できない学生さんの要望を受け、さらに火曜日にも開講することにいたしました。**火曜日9時~と木曜日14時30分~に同じ内容を行います。**どちらに参加していただいても(例えば、第1回は火曜日、第2回は木曜日といった形でもOK)構いません。不明点はお気軽にお問い合わせください。

10月の開講日

第1回 **10/6(火)終了・10/8(木)**

第2回 **10/20(火)・10/22(木)**

担当：学生支援室 光永(656-7205)

#### 〜編集後記〜

夏休み明けの学生さんたちの表情が、少し大人っぽく見えます。秋の装いに身を包んでいるせいなのか、それとも、この夏たくさんを経験を経たからなのでしょうか...

秋は“深”という言葉がよく似合います。秋の深まりを感じながら、学生—社会人—教員で議論する中で、それぞれの考えを深く掘り下げ、教養を深めていけたらいいですね。(境)